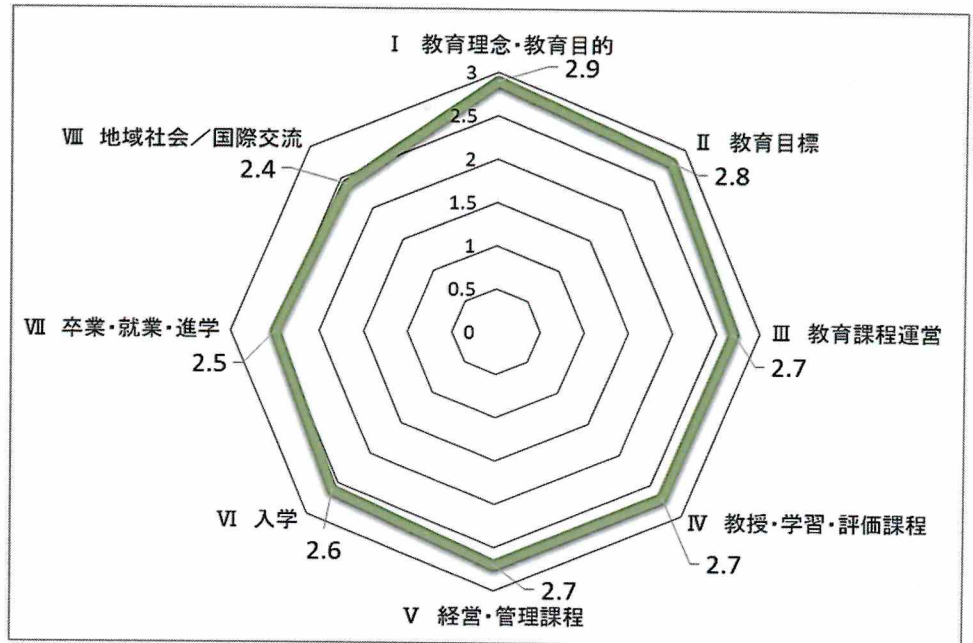


令和5年度 自己評価

項目	平均
I 教育理念・教育目的	2.9
II 教育目標	2.8
III 教育課程運営	2.7
IV 教授・学習・評価課程	2.7
V 経営・管理課程	2.7
VI 入学	2.6
VII 卒業・就業・進学	2.5
VIII 地域社会／国際交流	2.4

R6年3月集計



大項目平均	小項目	平均
I 教育理念・教育目的 2.9	1-1 教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している。	2.9
	1-2 教育理念・教育目的は、法との整合性がある。	2.9
	2-1 教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している。	2.9
	2-2 教育理念・教育目的は、実際に学生の学習の指針になっている。	2.9
	3-1 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている。	2.9
	3-2 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるかを述べている。	2.8
	3-3 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるかを述べている。	2.9
	4-1 教育理念・教育目的は、看護、看護学生、学生観について明示している。	2.9
	4-2 看護、看護学教育、学生観は、実際に教員の教育活動の指針となっている。	2.8
	5-1 教育理念・教育目的は、養成する看護師等が卒業時点において、もつべき資質を明示している。	2.8
	5-2 卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている。	2.8
	II 教育目標 2.8	1-1 教育目標は、教育理念・教育目的と一貫性がある。
2-1 教育目標は、設定した教育内容を網羅している。		2.8
2-2 教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとなっている。		2.8
3-1 教育目標は、目標内容と到達レベルが対応している。		2.7
3-2 教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている。		2.8
4 看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から、教育目標を設定している。		2.8
5 卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している。		2.8

大項目平均	小項目	平均
Ⅲ 教育課程運営	<教育課程運営者の活動> 1-1 教育課程運営者と教職員全体は、教育課程と教育実践、教育評価との関連性を明確に理解している。	2.5
	<教育課程運営者の活動> 1-2 教育課程運営者と教員全体は、教職教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている。	2.6
	<教育課程編成の考え方とその具体的な構成> 1-1 看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	2.8
	<教育課程編成の考え方とその具体的な構成> 1-2 学修の到達について明確な考え方と根拠をもって、教育課程を編成している。	2.7
	<教育課程編成の考え方とその具体的な構成> 1-3 学生の成長について明確な考え方と根拠をもって、教育課程を編成している。	2.9
	<科目・単元構成> 1-1 明確な考え方と根拠をもって科目を構成している。	2.8
	<科目・単元構成> 1-2 明確な考え方と根拠をもって単元を構成している。	2.8
	<科目・単元構成> 1-3 科目と単元の構成の考え方は、教育理念・目的、教育目標と整合性がある。	2.8
	<科目・単元構成> 2-1 構成した科目は、看護師等を養成するのに妥当である。	2.9
	<科目・単元構成> 2-2 構成した科目は、養成所の特徴をあらわしている。	2.9
	<教育計画> 1-1 単位履修の方法とその制約について、教師・学生の双方がわかるように明示している。	2.6
	<教育計画> 1-2 単位履修の方法は、学生の単位履修を支援するものとなっている。	2.8
	<教育計画> 2 単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように科目の配列をしている。	2.7
	<教育課程評価の体系> 1-1 単位認定の基準は、看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。	2.8
	<教育課程評価の体系> 1-2 単位認定の方法は、看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。	2.9
	<教育課程評価の体系> 2 他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている。	2.4
	<教育課程評価の体系> 3-1 教育課程を評価する体制を整えている。	2.5
	<教育課程評価の体系> 3-2 評価結果の活用における倫理規定を明確にしている。	2.5
	<学生の看護実践体験の保障> 1-1 臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解している。	2.7
	<学生の看護実践体験の保障> 1-2 臨地実習施設は、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている。	2.6
	<学生の看護実践体験の保障> 2-1 臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしている。	2.7
	<学生の看護実践体験の保障> 2-2 臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている。	2.7
	<学生の看護実践体験の保障> 2-3 臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている。	2.6
	<学生の看護実践体験の保障> 3-1 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。	2.9
	<学生の看護実践体験の保障> 3-2 対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている。	2.8
	<学生の看護実践体験の保障> 4-1 臨地実習において、学生が関係する事故を把握、分析している。	2.5
	<学生の看護実践体験の保障> 4-2 学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている。	2.5

大項目平均	小項目	平均	
IV 教授・学習・評価課程	<授業内容と教育課程との一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間の関連と発展> 1 授業内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている。	2.8	
	<授業内容と教育課程との一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間の関連と発展> 2-1 授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている。	2.7	
	<授業内容と教育課程との一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間の関連と発展> 2-2 授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている。	2.7	
	<授業内容と教育課程との一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間の関連と発展> 3 授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある。	2.7	
	<授業内容と教育課程との一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間の関連と発展> 4 授業内容間の重複や整合性、発展性等が明確になっている。	2.5	
	<授業の展開過程> 1 授業形態(講義・演習・実験・実習)は、授業内容に応じて選択している。	2.8	
	<授業の展開過程> 2 授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践している。	2.7	
	<授業の展開過程> 3 授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している。	2.7	
	<授業の展開過程> 4 学生に対し効果的な教育・指導を行うために教員間の協力体制を明確にしている。	2.6	
	<目標達成の評価とフィードバック> 1-1 評価計画を立案し、実施している。	2.7	
	<目標達成の評価とフィードバック> 1-2 評価結果に基づいて、実際に授業を改善している。	2.7	
	<目標達成の評価とフィードバック> 2-1 学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている。	2.8	
	<目標達成の評価とフィードバック> 2-2 教育目標の達成状況を多面的に把握している。	2.6	
	<目標達成の評価とフィードバック> 3-1 学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。	2.6	
	<目標達成の評価とフィードバック> 3-2 単位認定の評価には公平性が保たれている。	2.8	
	<学習への動機づけと支援> 1-1 シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性がある。	2.8	
	<学習への動機づけと支援> 1-2 シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている。	2.6	
	V 経営・管理課程	<学生生活の支援> 1-1 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えている。	2.8
		<学生生活の支援> 1-2 学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている。	2.8
		<学生生活の支援> 1-3 支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けている。	2.9
<養成所に関する情報提供> 1-1 教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行っている。		2.7	
<養成所に関する情報提供> 1-2 関係者(保護者等)への情報提供は、関係者から協力・支援を得ることにつながっている。		2.8	
<養成所に関する情報提供> 2-1 看護師等を養成する機関としての存在を十分にアピールする広報活動を適切に行っている。		2.6	
<養成所に関する情報提供> 2-2 広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっている。		2.7	
VI 入学	2.6 1 教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べている。	2.7	
	2 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性および教育効果の視点から分析し、検証している。	2.5	

大項目平均	小項目	平均	
VII 卒業・就業・進学	2.5	1 卒業時の到達状況をとらえる方法が明確であり、計画的に行っている。	2.6
		2-1 卒業時の到達状況を分析している。	2.4
		2-2 卒業生の就業・進学状況を分析している。	2.7
		2-3 卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある。	2.6
		3-1 卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしている。	2.4
		3-2 卒業生の就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている。	2.6
		4-1 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している。	2.3
		4-2 卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している。	2.4
VIII 地域社会・国際交流	2.4	<地域社会> 1-1 社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している。	2.6
		<地域社会> 1-2 看護教育活動をととして、地域社会への貢献を組織的に行っている。	2.5
		<地域社会> 2-1 養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている。	2.5
		<地域社会> 2-2 養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。	2.6
		<地域社会> 3-1 養成所が設置されている地域の特徴を把握している。	2.7
		<地域社会> 3-2 地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている。	2.6
		<国際交流> 1 国際的視野を広げるための授業科目を設定している。	2.3
		<国際交流> 2 国際的視野を広げるための自己学習に適した教育環境を整えている。	2.4
		<国際交流> 3 海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている。	1.9
		<国際交流> 4 留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えている。	1.9

令和5年度 卒業生による学校評価

① 国際ティビシィ小山看護を選んで良かった ベスト5

2023年度【7期生】	
1位	友人・先輩との出会い
2位	通学時間・距離
3位	人間関係
4位	国家試験対策
5位	教育・指導内容

② 3年間で身についたと思う力 ベスト5

2023年度【7期生】	
1位	精神力
2位	忍耐力
3位	看護の知識・技術 看護する力
4位	コミュニケーション力
5位	人の気持ちを考える力

③ 看護師に求められる卒業時の実践能力到達度 ベスト5

2023年度【7期生】	
1位	対象者のプライバシーや個人情報を保護する
2位	対象者選択権および自己決定を尊重する
3位	対人技法を用いて、対象者と援助的コミュニケーションをとる
4位	対象者の尊厳や人権を守り、擁護的立場で行動することの重要性を理解する
5位	対象者の価値観、生活習慣、慣習、信条など理解する